



現状と課題

令和6年度埼玉県学力・学習状況調査より
本校と県との比較(平均正答率)

	本校	県
4年 国語	46.8	51.9
4年 算数	59.8	62.6
5年 国語	48.5	56.9
5年 算数	48.5	63.0

○教科、学年問わず、「思考・判断・表現」「記述する問題」の無回答率が高い。

現状と課題をもとにした仮説

- ①国語、算数の授業において、クラスを半分に分けた少人数学習、また習熟度別学習を実施することで、より丁寧な個別の指導を実施することができるであろう。
- ②学び合い学習を行い、一人も取り残さない授業を実施することで、学習に対する意欲の向上とともに、繰り返しインプット、アウトプットを行うことにより、基礎・基本を徹底させることができ、無解答率を減らすことができるであろう。
- ③「めあて、見通し、学び合い、まとめ、振り返り」の学習スタンダードを確立することで、児童の課題意識と見通しをもった学習が確立され、非認知能力を高めることができるであろう。

事業実施報告

通年 少人数学習による個別支援
通年 きらきらタイムの実施

- 6月21日 授業研究会
- 9月 9日 学力調査分析
指導方法の考察
- 10月 1日 小中合同授業研究会
- 11月 6日 4、5年研究授業
- 11月25日 小中合同授業研究会

仮説をもとにした取組内容

取組① 算数科における少人数指導(4, 5年生)

- ・単元内容に応じて、習熟度別指導を行い、個に応じたきめ細かい指導
- ・担任と加配教員が連携して行う教材研究
- ・ICTの活用
デジタル教科書の活用、学習用端末にあるミライシードを活用した個の対応

取組② 国語科における少人数指導(4, 5年生)

- ・「書く」指導を個別に対応
- ・少人数の利点を生かした「自分の意見を述べる」機会の充実
- ・学び合い学習(ペア学習)
- ・ICTの活用
スライドや掲示板アプリを活用した他児童との意見交換

取組③ 学び合い学習～一人も取り残さないために～

- ・教科、内容に応じたコの字型の指導形態
- ・聴くことに重点を置いた学び合い学習(ペア・4人グループ)
- ・習熟度に応じたグループ作りにより、各学力層の児童の学力をより伸ばす工夫

取組④ きらきらタイム

- ・国語の「書く力」向上に向けた「よみとき新聞ワークシート」の実施(4～6年生対象、毎月1～2回、朝の15分間)
- ・月曜日と金曜日を1セットで実施し、書いたことについて、児童同士の話し合いを行う。(学び合い学習)

成果

成果①②

算数、国語の少人数授業を実施したことで、児童一人一人に教員の目が届く、見届けのできる授業を実施できた。また、少人数の利点として、発表や発言をする機会が、クラスでの一斉授業よりも多く、アウトプットを意図的に行うことができ、対話的で深い学びにつなげることができた。保護者からも少人数授業の効果을期待する声が学校評価で多く挙げられた。

成果①②

ICTを活用し、言葉や平面の図では伝えづらい場面や立体図等について、映像等を活用し、分かりやすい授業展開を心がけた。教師アンケート「ICTを用いた分かりやすい授業を行っているか」という項目に95%の教員が肯定的な回答をしている。児童も「学習用端末を使って、考えを広め、積極的に授業に取り組んでいるか」という質問に81%が肯定的な回答であった。

成果③

学び合い学習（ペア学習や4人グループ学習）を積極的に取り入れた授業を行うことで、児童アンケート「私は、自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、色々な考えに触れながら勉強している」という項目に88%の児童が肯定的な回答をしている。また、学び合い学習の授業実践により、多くの教師が学力向上につながっていることを実感している。

成果④

「書く」ことへの抵抗が少なくなっていると同時に、家庭学習で「書く」ことを取り組む児童が増えた。朝学習の時間での取組により、国語の時間での書く作業に対する苦手意識が低くなっている。また、各教科で児童が自分の言葉でまとめや振り返りを書く場面を設けたことも書くことへの抵抗感が軽減した成果と考えている。夏の課題である読書感想文に応募する児童が増えた。

課題及び今後に向けて

- ・話を聞くことに課題がある児童も多く、学力に影響しているため授業規律を学校全体で統一していく。
- ・少人数指導、習熟度別指導を指導内容に応じて継続して行っていく、一人一人に丁寧な支援、対応をしていく。
- ・ICTをより有効活用していくためには、教職員の研修は不可欠である。ICT支援員を活用し、計画的に研修を実施し、児童の学力向上のために研鑽を積む。学び合い学習とともに、学習スタンダード（めあてとまとめ、振り返りを意識した学習スタイル）として整え、実践していく。

